

一般社団法人 日本応用数理学会

2022（令和4）年度定時社員総会

日時：2022（令和4）年6月17日（金）16:00 ～ 17:30

会場：国際文献社アカデミーセンター会議室（東京都新宿区山吹町 358-5）

議事：

- 第1号議案
2021（令和3）年度事業報告の件 [2～5 頁]
- 第2号議案
2021（令和3）年度決算の件 [6 頁～16 頁]
2021（令和3）年度監査報告の件 [17 頁～18 頁]
- 第3号議案 役員選任の件
（報告事項：選挙結果，任期満了）
理事候補者
井手貴範、大江貴司、荻田武史、梶原健司、齊藤宣一、
関根晃太、長井秀友、松本純一、吉田真紀
監事候補者
矢野良輔
- 第4号議案
2022（令和4）年度事業計画の件 [19 頁]
- 第5号議案
2022（令和4）年度予算の件 [20 頁～22 頁]

終了後：

新フェロー任命式

2021 年度業績賞報告

2021 年度年会若手優秀講演賞表彰式

第18回研究部会連合発表会優秀講演賞表彰式

以上

2022 年 5 月 20 日 理事会

一般社団法人日本応用数理学会 2021（令和 3）年度事業報告（案）

本学会は 2021（令和 3）年度（2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで）下記のとおり事業を行った。

1. 学会誌「応用数理」の刊行

31 巻 2 号（6 月）、3 号（9 月）、4 号（12 月）、32 巻 1 号（3 月）の 4 号を発刊した
31 巻（1～4 号）の総頁数 208 頁 [192]
32 巻 1 号からは日本応用数理学会が編集・発行、国際文献社が印刷・販売となった。
2021 年秋からは、編集事務業務を国際文献社に委託した。

2. JSIAM Online Magazine の編集・公開

3. 論文誌「日本応用数理学会論文誌」の刊行

31 巻 2 号（6 月）、3 号（9 月）、4 号（12 月）、32 巻 1 号（3 月）の 4 号を電子版として J-Stage で公開した。
31 巻（1～4 号）の総頁数 287 頁 [392]

4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集（年 3 回発刊）

5. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行

Volume 13（20 篇）、Volume 14（10 篇）を J-Stage で公開した。

6. 出版

シリーズ応用数理 7『選挙・投票・公共選択の数理』（日本応用数理学会 監修・大山 達雄編）を発刊した。

7. 年会の開催

2021 年 9 月 7 日～9 日にオンライン（実行委員会：芝浦工業大学）で第 31 回年会を開催し、575 名[559]の参加を得て盛会裡に終了した。（総合講演 2 件[1]、オーガナイズドセッションおよび一般講演 289 件[262]、ポスター発表 14 [0]、計 305 件[263]）

8. 研究部会の育成促進（次頁の研究部会一覧を参照）

（ア）今年度は 22 研究部会の活動推進が行われ、1 研究部会準備会の活動が認められた。

（イ）2022 年 3 月 8 日～9 日にオンライン（実行委員会：九州大学、幾何学的形状形成研究部会）で研究部会連合発表会を開催し、395 名[424]の参加を得て盛会裡に終了した。
（講演 169 件）

9. 各種委員会活動の推進

国際活動委員会、ネットワーク委員会等の諸活動が精力的に進められた。総務委員会が新規に設置された。

10. 海外の応用数理学会との交流

(ア) ICIAM2023 の開催に向けた準備活動を進めている。

(イ) International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)のメンバー学会である。

(ウ) オーストラリア数学会(AustMS)、 SIAM とは相互協定を締結している。

11. 他学会等との交流

(ア) 日本数学会、統計関連学会連合とは懇談会を開催し、マスタープラン提案等で連携している
また、数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会を共同で開催している。

(イ) 日本数学会へは社会連携協議会へ委員を派遣している。

(ウ) 日本シミュレーション学会、日本計算工学会とは密接な情報交換を行った。

(エ) 横断型基幹科学技術研究団体連合、学術会議計算力学小委員会、日本計算力学連合(JACM)、HPCI コンソーシアム、男女共同参画協会連絡会、理論応用力学コンソーシアムのメンバー学会である。

12. 会員・賛助会員の現状 (2022 年 3 月 31 日現在)

会員数は 1,413 名[1,360]になった。

(入会 123 名 (正 67、学 56)、退会 70 名 (正 51、学 19) (退会は、会員資格喪失者を含む))

賛助会員は 24 社 [24] 43 口 [44]となった。(入会 1、退会 1)

個人賛助会員は、1 名[1]である。

名誉会員は 15 名[16]となった。

13. 表彰

(ア) 論文賞 (論文誌、JSIAM Letters、JJIAM) 6 件[8]を表彰した。

(イ) ベストオーサー賞 (学会誌) 2 件[2]を表彰した。

(ウ) 年会若手優秀講演賞 9 件[0]を表彰した。

(エ) 年会優秀ポスター賞 2 件[0]を表彰した。

(オ) 研究部会連合発表会優秀講演賞 4 件[0]を表彰した。

(カ) 第 15 期フェロー 4 名を任命した。

(キ) 業績賞理論分野 1 件[1]、応用分野 0 件[0]を選考した。

14. 若手層・女性研究者との連携強化

男女共同参画学協会連絡会女子中高生理系選択支援ワーキンググループによる「女子中高生夏の学校」がオンライン開催され、実行委員長および実験開催・ポスター展示・キャリア相談担当として理事および元理事が参加した。

15. 産業界・社会との交流促進

応用数理ものづくり研究会技術セミナー（第8期6回講演、懇談会1回を含む）を開催し15社[16]の参加を得た。

16. 協賛等

外部学協会等と37件[35]の協力関係を結んだ。

17. 数理科学振興の政策課題の検討

「日本応用数理学会における数理科学研究の加速に向けた取組み」を公表した

18. その他

稲盛財団からの寄附金により、国際的に活動する女性研究者を支援するために、稲盛財団基金積立金を設立し運用している。

岩波書店より商標「応用数理」（登録番号2457595）を譲渡された。

理事会の開催されない月に理事連絡会を開催した。

備考：[]は、2020年度実績

日本応用数理学会 研究部会一覧

「ウェーブレット」研究部会

「応用カオス」研究部会

「応用可積分系」研究部会

「折紙工学」研究部会

「科学技術計算と数値解析」研究部会

「機械学習」研究部会

「行列・固有値問題の解法とその応用」研究部会

「計算の品質」研究部会

「産業における応用数理」研究部会

「数理医学」研究部会

「数理政治学」研究部会

「数理設計」研究部会

「数理的技法による情報セキュリティ」研究部会

「数理ファイナンス」研究部会

「数論アルゴリズムとその応用」研究部会

「CAEモデリングとデータ活用」研究部会

「離散システム」研究部会

「連続体力学の数理」研究部会

「若手の会」研究部会

「環瀬戸内応用数理」研究部会（地域研究部会）

「幾何学的形状生成」研究部会
「位相的データ解析」研究部会
「連続最適化」研究部会準備会

以上

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,581,178	26,937,490	643,688
未収金	2,845,500	1,147,500	1,698,000
流動資産合計	30,426,678	28,084,990	2,341,688
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) その他固定資産			
敷金	0	748,000	△ 748,000
その他固定資産合計	0	748,000	△ 748,000
固定資産合計	20,000,000	20,748,000	△ 748,000
資産合計	50,426,678	48,832,990	1,593,688
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	281,137	2,755,009	△ 2,473,872
前受会費	7,396,500	7,313,500	83,000
預り金	4,492	0	4,492
未払法人税等	69,900	70,000	△ 100
流動負債合計	7,752,029	10,138,509	△ 2,386,480
負債合計	7,752,029	10,138,509	△ 2,386,480
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	42,674,649	38,694,481	3,980,168
正味財産合計	42,674,649	38,694,481	3,980,168
負債及び正味財産合計	50,426,678	48,832,990	1,593,688

正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	92,000	61,000	31,000
正会員	48,000	52,000	△ 4,000
学生会員	44,000	9,000	35,000
受取会費	19,539,250	18,809,000	730,250
正会員	16,489,250	16,297,500	191,750
学生会員	687,500	511,500	176,000
賛助会員	2,362,500	2,000,000	362,500
事業収益	4,903,111	4,242,817	660,294
応用数理編集料	165,000	220,000	△ 55,000
論文誌掲載料	520,000	480,000	40,000
年会収益	2,451,000	2,448,000	3,000
セミナー収益	535,000	460,000	75,000
研究部会収益	598,000	409,000	189,000
著作権料収益	634,111	225,817	408,294
雑収益	4,808	6,363	△ 1,555
経常収益計	24,539,169	23,119,180	1,419,989
(2) 経常費用			
事業費	7,250,336	1,349,507	5,900,829
応用数理刊行事業費	1,365,493	198,000	1,167,493
委託費	775,860	0	775,860
印刷製本費	589,633	198,000	391,633
論文誌刊行事業費	367,776	358,976	8,800
委託費	367,776	358,976	8,800
JSIAM-Letters刊行事業費	51,700	51,700	0
委託費	51,700	51,700	0
年会事業費	3,761,248	480,411	3,280,837
委託費	3,581,834	0	3,581,834
会議費	52,626	213,981	△ 161,355
印刷製本費	0	66,000	△ 66,000
通信運搬費	3,250	6,280	△ 3,030
諸謝金	0	176,000	△ 176,000
雑費	123,538	18,150	105,388
セミナー事業費	165,316	93,408	71,908
会議費	11,672	37,723	△ 26,051
諸謝金	153,644	55,685	97,959
研究部会事業費	1,538,803	167,012	1,371,791
委託費	1,292,246	0	1,292,246
会議費	0	9,072	△ 9,072
通信運搬費	0	1,510	△ 1,510
諸謝金	216,857	156,430	60,427
雑費	29,700	0	29,700
管理費	13,308,665	16,973,651	△ 3,664,986
人件費	0	1,655,000	△ 1,655,000
応用数理購入費	4,519,592	5,904,800	△ 1,385,208
JJIAM購入費	237,600	234,000	3,600
活動促進費	26,020	31,049	△ 5,029

正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
関連団体等会費	164,343	153,552	10,791
保守費	1,034,763	1,180,260	△ 145,497
事務委託費	5,468,688	4,837,673	631,015
委託費	4,246,430	3,842,084	404,346
印刷製本費	194,962	146,536	48,426
通信運搬費	1,002,303	849,053	153,250
消耗品費	24,993	0	24,993
会議費	100,647	189,674	△ 89,027
事務局運営費	1,466,388	2,596,593	△ 1,130,205
福利厚生費	0	8,551	△ 8,551
旅費交通費	0	138,310	△ 138,310
通信運搬費	85,633	148,798	△ 63,165
コピー機リース料金	264,052	188,868	75,184
消耗品費	3,882	131,991	△ 128,109
賃借料	579,920	1,799,160	△ 1,219,240
雑費	532,901	180,915	351,986
法人関連経費	290,624	191,050	99,574
経常費用計	20,559,001	18,323,158	2,235,843
評価損益等調整前当期経常増減額	3,980,168	4,796,022	△ 815,854
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,980,168	4,796,022	△ 815,854
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	△ 1,000,000	1,000,000
当期一般正味財産増減額	3,980,168	3,796,022	184,146
一般正味財産期首残高	38,694,481	34,898,459	3,796,022
一般正味財産期末残高	42,674,649	38,694,481	3,980,168
II 正味財産期末残高	42,674,649	38,694,481	3,980,168

予算対比正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	50,000	92,000	△ 42,000
正会員	50,000	48,000	2,000
学生会員	0	44,000	△ 44,000
受取会費	18,541,750	19,539,250	△ 997,500
正会員	15,890,750	16,489,250	△ 598,500
学生会員	451,000	687,500	△ 236,500
賛助会員	2,200,000	2,362,500	△ 162,500
事業収益	4,600,000	4,903,111	△ 303,111
応用数理編集料	220,000	165,000	55,000
論文誌掲載料	480,000	520,000	△ 40,000
年会収益	2,500,000	2,451,000	49,000
セミナー収益	600,000	535,000	65,000
研究部会収益	500,000	598,000	△ 98,000
著作権料収益	300,000	634,111	△ 334,111
雑収益	1,000	4,808	△ 3,808
経常収益計	23,192,750	24,539,169	△ 1,346,419
(2) 経常費用			
事業費	4,525,000	7,250,336	△ 2,725,336
応用数理刊行事業費	235,000	1,365,493	△ 1,130,493
委託費	200,000	775,860	△ 575,860
会議費	35,000	0	35,000
印刷製本費	0	589,633	△ 589,633
論文誌刊行事業費	380,000	367,776	12,224
委託費	360,000	367,776	△ 7,776
会議費	20,000	0	20,000
JSIAM-Letters刊行事業費	110,000	51,700	58,300
委託費	50,000	51,700	△ 1,700
会議費	60,000	0	60,000
年会事業費	2,500,000	3,761,248	△ 1,261,248
委託費	2,500,000	3,581,834	△ 1,081,834
会議費	0	52,626	△ 52,626
通信運搬費	0	3,250	△ 3,250
雑費	0	123,538	△ 123,538
セミナー事業費	500,000	165,316	334,684
会議費	500,000	11,672	488,328
諸謝金	0	153,644	△ 153,644
研究部会事業費	800,000	1,538,803	△ 738,803
委託費	800,000	1,292,246	△ 492,246
諸謝金	0	216,857	△ 216,857
雑費	0	29,700	△ 29,700
管理費	16,504,000	13,308,665	3,195,335
人件費	600,000	0	600,000
応用数理購入費	5,984,000	4,519,592	1,464,408
JJIAM購入費	300,000	237,600	62,400
活動促進費	100,000	26,020	73,980
関連団体等会費	150,000	164,343	△ 14,343

予算対比正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
保守費	900,000	1,034,763	△ 134,763
事務委託費	5,300,000	5,468,688	△ 168,688
委託費	4,000,000	4,246,430	△ 246,430
印刷製本費	300,000	194,962	105,038
通信運搬費	1,000,000	1,002,303	△ 2,303
消耗品費	0	24,993	△ 24,993
会議費	200,000	100,647	99,353
事務局運営費	2,770,000	1,466,388	1,303,612
旅費交通費	100,000	0	100,000
通信運搬費	50,000	85,633	△ 35,633
コピー機リース料金	180,000	264,052	△ 84,052
消耗品費	150,000	3,882	146,118
賃借料	1,790,000	579,920	1,210,080
雑費	500,000	532,901	△ 32,901
法人関連経費	200,000	290,624	△ 90,624
経常費用計	21,029,000	20,559,001	469,999
評価損益等調整前当期経常増減額	2,163,750	3,980,168	△ 1,816,418
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,163,750	3,980,168	△ 1,816,418
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,163,750	3,980,168	△ 1,816,418
一般正味財産期首残高	38,694,481	38,694,481	0
一般正味財産期末残高	40,858,231	42,674,649	△ 1,816,418
Ⅱ 正味財産期末残高	40,858,231	42,674,649	△ 1,816,418

財産目録

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預金現金	普通預金	運転資金として	24,179,841
		みずほ銀行根津支店(普)／1140839		12,975,038
		みずほ銀行麹町支店(普)／1282010		10,783,643
		三菱UFJ銀行(普)／0424593		239,516
		三井住友銀行(普)／2969442		181,644
	未収金	郵便振替	運転資金として	3,401,337
		会費用		3,401,337
				2,845,500
		会費収入(クレジット決済分)		2,071,500
		論文誌掲載料		120,000
	ものづくり研究会参加費		60,000	
	研究部会参加費(クレジット決済分)		594,000	
流動資産合計				30,426,678
(固定資産) 基本財産	基本財産			
		三菱UFJ銀行(定)／0036919		20,000,000
		三井住友銀行(定)／00692621		10,000,000
固定資産合計				10,000,000
資産合計				50,426,678
(流動負債)	未払金	Google、Amazon等	システム月額使用料(クレジット決済分)	281,137
		笹野国際特許事務所		90,354
		(株)三秀舎	商標更新申請手数料	78,308
		ランサーズ(株)	学会誌・論文誌作成費	67,100
			バナー作成費	45,375
	前受会費		翌事業年度以降会費	7,396,500
		正会員		6,277,500
		正会員(シニア)		605,000
		学生会員		214,000
		賛助会員(法人)		300,000
預り金	四谷税務署	源泉所得税預り分	4,492	
未払法人税等	新宿区都税事務所	2021年度都民税均等割	69,900	
流動負債合計				7,752,029
負債合計				7,752,029
正味財産				42,674,649

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
前払金	1,100,000	0	1,100,000
流動資産合計	1,100,000	0	1,100,000
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産	10,754,833	11,855,613	△ 1,100,780
特定資産合計	10,754,833	11,855,613	△ 1,100,780
固定資産合計	10,754,833	11,855,613	△ 1,100,780
資産合計	11,854,833	11,855,613	△ 780
II 正味財産の部			
1. 一般正味財産	11,854,833	11,855,613	△ 780
正味財産合計	11,854,833	11,855,613	△ 780
負債及び正味財産合計	11,854,833	11,855,613	△ 780

正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	0	1,700,000	△ 1,700,000
国際交流事業収益	0	1,700,000	△ 1,700,000
雑収益	100	87	13
経常収益計	100	1,700,087	△ 1,699,987
(2) 経常費用			
事業費			
国際交流事業費	880	0	880
経常費用計	880	0	880
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 780	1,700,087	△ 1,700,867
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 780	1,700,087	△ 1,700,867
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	1,000,000	△ 1,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 780	2,700,087	△ 2,700,867
一般正味財産期首残高	11,855,613	9,155,526	2,700,087
一般正味財産期末残高	11,854,833	11,855,613	△ 780
II 正味財産期末残高	11,854,833	11,855,613	△ 780

予算対比正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	100	100	0
経常収益計	100	100	0
(2) 経常費用			
事業費			
国際交流事業費	0	880	△ 880
経常費用計	0	880	△ 880
評価損益等調整前当期経常増減額	100	△ 780	880
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	100	△ 780	880
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	100	△ 780	880
一般正味財産期首残高	11,855,613	11,855,613	0
一般正味財産期末残高	11,855,713	11,854,833	880
II 正味財産期末残高	11,855,713	11,854,833	880

財産目録

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

国際交流事業会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
前払金	(株)想隆社	ICIAM2023査読システム費	1,100,000
			1,100,000
流動資産合計			1,100,000
(固定資産)			
特定資産			
特定資産	みずほ銀行(普)／3000023	国際交流事業運営資金として	10,754,833
			10,754,833
固定資産合計			10,754,833
資産合計			11,854,833
正味財産			11,854,833

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産	3,000,562	3,000,511	51
特定資産合計	3,000,562	3,000,511	51
固定資産合計	3,000,562	3,000,511	51
資産合計	3,000,562	3,000,511	51
II 正味財産の部			
1. 一般正味財産	3,000,562	3,000,511	51
正味財産合計	3,000,562	3,000,511	51
負債及び正味財産合計	3,000,562	3,000,511	51

正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	51	255	△ 204
経常収益計	51	255	△ 204
(2) 経常費用			
経常費用計	0	0	0
評価損益等調整前当期経常増減額	51	255	△ 204
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	51	255	△ 204
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	51	255	△ 204
一般正味財産期首残高	3,000,511	3,000,256	255
一般正味財産期末残高	3,000,562	3,000,511	51
II 正味財産期末残高	3,000,562	3,000,511	51

予算対比正味財産増減計算書

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般社団法人 日本応用数理学会

稲盛財団基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	300	51	249
経常収益計	300	51	249
(2) 経常費用			
経常費用計	0	0	0
評価損益等調整前当期経常増減額	300	51	249
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	300	51	249
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	300	51	249
一般正味財産期首残高	3,000,511	3,000,511	0
一般正味財産期末残高	3,000,811	3,000,562	249
II 正味財産期末残高	3,000,811	3,000,562	249

財産目録

2022年 3月31日現在

一般社団法人 日本応用数理学会

稲盛財団基金会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産) 特定資産	特定資産	稲盛財団基金運営資金として	3,000,562
	三菱UFJ銀行(定)／0081087		3,000,000
	三菱UFJ銀行(普)／0860997		562
固定資産合計			3,000,562
資産合計			3,000,562
正味財産			3,000,562

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

附属明細書

1. 該当事項なし

内容の写し

一般社団法人 日本応用数理学会
代表理事 秋葉 博様

2021(令和3)年度 税務監査報告書

2021(令和3)年度の会計につき税務監査の結果を以下の通りご報告いたします。

年 度：第10期、自2021(平成3)年4月1日 至 2022(令和4)年3月31日

実施日：2022(令和4)年4月18日(月)

方 法：原始資料との突合、預貯金残高の検証、帳表類の保管状況の確認、総勘定元帳と決算書の残高の照合など

結 果：領収書や請求書などの原始資料が月別かつ日毎に整理されています。

日々の金銭による収支は複式簿記により適切に処理されています。

預貯金残高は通帳の金額と合致しています。

資産負債の細目及び内訳を確認しました。

所 見：

1. 当期の特徴

当期の収入増加は、会費収入と著作権収入が好調であったこと、当期の管理費減少は、人件費及び事務局運営費が削減したことが、それぞれの主な要因です。いずれも事務局機能移転による効果が反映されているものと考えます。

また、当期の事業費は予算に対して委託費の費用が増加しましたが、進行期の予算策定では委託費を盛り込んでいるとのこと、聞き取りにて確認いたしました。

2. 法人税の申告

収益事業がある場合は法人税の申告をする必要があります。学術団体の場合、企業展示や非会員への論文集販売などが該当します。また、年間の収入金額が8,000万円を超える場合は一定の計算書類を提出する必要があります。

3. 消費税インボイス制度

令和5年10月から消費税インボイス制度が導入されます。既にお渡ししてある消費税インボイス制度の概要をご確認の上、今後の学会運営の参考になさってください。

2022(令和4)年5月12日(木)
東京都千代田区神田小川町3丁目26番8号6
AtaGO税理士法人
担当 山崎 美穂
TEL03-3412-9515

(内容の写し)

監 査 報 告

2022 年 5 月 12 日

一般社団法人日本応用数理学会
会長 秋葉 博 殿

一般社団法人日本応用数理学会
監事 内山 成憲
尊田 嘉之

私たちは、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの会計年度における監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務報告の内容は正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または定款により指摘すべき事項はないと認める。

以上

2022 年 5 月 20 日 理事会

一般社団法人 日本応用数理学会 2022（令和 4）年度事業計画（案）

本学会は 2022（令和 4）年度（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）下記のとおり事業を行う予定である。

1. 学会誌「応用数理」の刊行（6 月、9 月、12 月、3 月）
2. JSIAM Online Magazine の編集・公開
3. 電子版「日本応用数理学会論文誌」の刊行（6 月、9 月、12 月、3 月）
4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集
5. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
6. 出版
7. 年会の開催
 - ・2022 年 9 月 8 日～9 月 10 日 北海道大学
8. 研究部会の育成促進
 - ・研究部会連合発表会（岡山理科大学）の開催
9. 各種委員会活動の推進
10. 国際活動
 - ・International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)への貢献および海外の応用数理関連学会との交流、協力の推進
 - ・ICIAM2023 の開催に向けた準備活動
 - ・JSIAM 国際シンポジウムの開催に向けた準備活動
 - ・稲盛財団基金積立金の適切な運用による、国際的に活動する女性研究者の支援
11. 応用数理関連他学会との交流の推進
12. 会員・賛助会員の増強に向けたサービス向上とコミュニティーの拡大
13. 表彰
 - フェローの任命、業績賞、論文賞（和文論文誌、JJIAM, JSIAM Letters）、学会誌ベストオナー賞、年会若手優秀講演賞・ポスター賞、研究部会連合発表会優秀講演賞の表彰
14. 若手層・女性研究者の学会参加の促進
 - 産休中・育児中の研究者が年会や研究部会連合発表会などで研究発表できるようなオンライン参加の仕組みの試行
15. 産業界・社会との交流促進と連携強化
16. 数理科学振興の政策課題の検討
17. 学会ウェブの整備
18. その他

以上

収支予算案

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入金金	50,000	50,000	0	
正会員	50,000	50,000	0	前年度予算と同額を計上
受取会費	18,925,250	18,541,750	383,500	2021年3月4日現在の会員数を根拠に計上
正会員	16,131,250	15,890,750	240,500	
正会員	15,187,500	14,925,000	262,500	当年度会費：12,500円×(1184名×90%) 過年度会費：12,500円×150名見込
シニア会員	935,000	957,000	△ 22,000	当年度会費：11,000円×(95名×90%)
SIAM会員	8,750	8,750	0	当年度会費：8,750円×(1名×100%)(30%減免対象)
学生会員	594,000	451,000	143,000	当年度会費：5,500円×(136名×80%)
賛助会員	2,200,000	2,200,000	0	当年度会費：50,000円×(24社44口×100%)
事業収益	4,620,000	4,600,000	20,000	
応用数理編集料	0	220,000	△ 220,000	※岩波書店から国際文献社へ委託先変更のため
応用数理定期購読料	240,000	0	240,000	応用数理32巻1-4号分(715円×84件見込×4号分)
論文誌掲載料	480,000	480,000	0	論文誌32巻2-4号・33巻1号分(40,000円×3件見込×4号分)
年会収益	2,500,000	2,500,000	0	2022年度年会参加費等(前年度実績を参考に計上)
セミナー収益	600,000	600,000	0	ものづくり研究会第9期技術セミナー
研究部会収益	500,000	500,000	0	第19回研究部会連合発表会
著作権料	300,000	300,000	0	学術著作権協会、近代科学社、科学技術振興機構
雑収益	1,000	1,000	0	普通預金利息、定期預金利息など
経常収益計	23,596,250	23,192,750	403,500	
(2) 経常費用				
事業費	10,025,000	4,525,000	5,500,000	
応用数理刊行事業費	4,635,000	235,000	4,400,000	
委託費	2,300,000	200,000	2,100,000	応用数理32巻2-4号・33巻1号分編集業務委託経費、J-STAGE経費(国際文献社)
会議費	35,000	35,000	0	
印刷製本費	2,300,000	0	2,300,000	応用数理32巻2-4号・33巻1号分(1700部54頁×4号分)(国際文献社)
論文誌刊行事業費	380,000	380,000	0	
委託費	360,000	360,000	0	論文誌32巻2-4号・33巻1号分オンライン査読システム使用料、J-STAGEアップロード作業(三秀舎)
会議費	20,000	20,000	0	
JSIAM-Letters刊行事業費	110,000	110,000	0	
委託費	50,000	50,000	0	J-STAGE投稿審査システム利用料
会議費	60,000	60,000	0	
年会事業費	3,100,000	2,500,000	600,000	2022年度年会(前年度実績をもとに計上)
セミナー事業費	500,000	500,000	0	ものづくり研究会第9期技術セミナー、異分野・異業種研究交流会
研究部会事業費	1,300,000	800,000	500,000	第19回研究部会連合発表会(前年度実績見込みを参考に計上)
管理費	10,264,000	16,504,000	△ 6,240,000	
人件費	0	600,000	△ 600,000	※事務所移転完了のため
応用数理購入費	0	5,984,000	△ 5,984,000	※岩波書店から国際文献社へ委託先変更のため
JCIAM購入費	300,000	300,000	0	JCIAM賛助頒布分購入費(Springer)
活動促進費	100,000	100,000	0	男女参画分担金、学会賞関係費用、広報関係費用等
関連団体等会費	150,000	150,000	0	横幹連合50,000円、理論応用力学20,000円、ICIAM会費USD800.00
保守費	1,000,000	900,000	100,000	GoogleCloudService使用料18,000円×12カ月、AmazonWebService使用料60,000円×12カ月、ホスティングサービス料4,400円×12カ月
事務委託費	7,964,000	5,300,000	2,664,000	
委託費	4,220,000	4,000,000	220,000	4-3月分業務委託費(見込)4,000,000円、選挙関連委託費(見積)220,000円(国際文献社)
HP関係費	2,464,000	0	2,464,000	WEBリニューアル費1,870,000円、WEB保守費594,000円(想隆社)
印刷製本費	200,000	300,000	△ 100,000	4-3月分封筒代100,000円、コピー代実費50,000円、選挙関連印刷費50,000円(国際文献社)
通信運搬費	1,030,000	1,000,000	30,000	4-3月分発送手数料・送料400,000円、学会誌4号分発送手数料・送料480,000円、選挙関連発送手数料・送料150,000円(国際文献社)
消耗品費	50,000	0	50,000	4-3月分賞状用紙代等(国際文献社)
会議費	200,000	200,000	0	Zoom使用料等
雑費	250,000	0	250,000	各種手数料(振込手数料・みずほファクター手数料・クレジット決済手数料等) ※計上科目の変更
事務局運営費	0	2,770,000	△ 2,770,000	
旅費交通費	0	100,000	△ 100,000	※事務所移転完了のため
通信運搬費	0	50,000	△ 50,000	※事務所移転完了のため
コピー機リース料金	0	180,000	△ 180,000	※事務所移転完了のため
消耗品費	0	150,000	△ 150,000	※事務所移転完了のため
賃借料	0	1,790,000	△ 1,790,000	※事務所移転完了のため
雑費	0	500,000	△ 500,000	※計上科目の変更
法人関連経費	300,000	200,000	100,000	監査対応報酬(AtaGO税理士法人)110,000円、登記変更費用100,000円、都民税均等割り70,000円
経常費用計	20,289,000	21,029,000	△ 740,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	3,307,250	2,163,750	1,143,500	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	3,307,250	2,163,750	1,143,500	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	3,307,250	2,163,750	1,143,500	
一般正味財産期首残高	40,858,231	38,694,481	2,163,750	
一般正味財産期末残高	44,165,481	40,858,231	3,307,250	
II 正味財産期末残高	44,165,481	40,858,231	3,307,250	

収支予算案

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

国際交流事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
雑収益	100	100	0	普通預金利息
経常収益計	100	100	0	
(2) 経常費用				
事業費	5,601,000	0	5,601,000	
国際交流事業費	5,601,000	0	5,601,000	
委託費	5,600,000	0	5,600,000	ICIAM2023準備マネジメント業務委託費554,070円、ICIAM2023査読システム開発委託費5,035,250円
雑費	1,000	0	1,000	振込手数料等
経常費用計	5,601,000	0	5,601,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,600,900	100	△ 5,601,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 5,600,900	100	△ 5,601,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5,600,900	100	△ 5,601,000	
一般正味財産期首残高	11,855,713	11,855,613	100	
一般正味財産期末残高	6,254,813	11,855,713	△ 5,600,900	
II 正味財産期末残高	6,254,813	11,855,713	△ 5,600,900	

収支予算案

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

福盛財産基金会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
雑収益	300	300	0	定期預金利息
経常収益計	300	300	0	
(2) 経常費用				
経常費用計	0	0	0	
評価損益等調整前当期経常増減額	300	300	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	300	300	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	300	300	0	
一般正味財産期首残高	3,000,811	3,000,511	300	
一般正味財産期末残高	3,001,111	3,000,811	300	
II 正味財産期末残高	3,001,111	3,000,811	300	

一般社団法人 日本応用数理学会

2022 年度 定時社員総会

参考資料

目次

役員の退任と留任.....	2
選挙結果.....	3
学会誌編集委員会.....	5
論文誌編集委員会.....	6
JSIAM Letters 編集委員会.....	7
国際活動委員会.....	8
表彰委員会.....	9
ネットワーク委員会.....	13
出版委員会.....	14
総務委員会.....	16
規程類の整備について.....	17

2022（令和4）年6月17日

一般社団法人 日本応用数理学会

一般社団法人 日本応用数理学会
退任・留任する役員の名簿

一般社団法人 日本応用数理学会では、理事・監事の任期が2年と定められております。

2022 年度定時社員総会終了時に退任または辞任する理事・監事（重任予定者を含む）は以下の通りです。

理事 9 名

今関 修（副会長）	荻田 武史
梶原 健司（副会長）	齊藤 宣一
佐藤 大輔	田辺 隆人
永井 敦	森山 園子
山中 脩也	

監事 1 名

尊田 嘉之

また、2021 年度から 2022 年度にかけて留任する理事・監事は以下の通りです。

理事 11 名

秋葉 博（会長）	石渡 哲哉
小磯 深幸	曾我部 知広
張 紹良（副会長）	李 聖林
岡澤 健介	直野 健
丸野 健一	村重 淳
渡部 善隆	

監事 1 名

内山 成憲

以上

一般社団法人 日本応用数理学会 2022年度 代表会員選挙ならびに役員候補者選挙 選挙結果

投票総数と投票の成立

2022年3月23日に開票を行い、正会員数 1272 名（2021年11月末時点）に対し期日（2022年3月16日）までの投票総数が 449 票であり、そのすべてが有効投票の要件を満たしていることを確認しました。有効投票数が全体の6分の1以上であり、選挙規定第13条に基づき投票が成立することを宣言いたします。

投票結果

下記に示す投票結果にしたがい、今回の立候補者全員が信任され、代表会員 100 名が当選しました。総会では、今回の選挙結果を尊重して、この代表会員による役員選挙が行われ、役員が決定されます。

副会長（改選数 2名、候補者数 2名、投票数 449票）

信任得票数 448票, 不信任得票数 1票の候補者	2名
---------------------------	----

監事（改選数 1名、候補者数 1名、投票数 449票）

信任得票数 448票, 不信任得票数 1票の候補者	1名
---------------------------	----

理事（改選数 9名、候補者数 9名、投票数 449票）

信任得票数 448票, 不信任得票数 1票の候補者	9名
---------------------------	----

代表会員（改選数 102名、候補者数 100名、投票数 449票）

信任得票数 449票, 不信任得票数 0票の候補者	2名
信任得票数 448票, 不信任得票数 1票の候補者	93名
信任得票数 447票, 不信任得票数 2票の候補者	4名
信任得票数 446票, 不信任得票数 3票の候補者	1名

当選者一覧

[1] 役員候補者

副会長候補者 2名（改選数 2）

井手 貴範 （株式会社アイシン）
吉田 真紀 （（国研）情報通信研究機構）

監事候補者 1名（改選数 1）

矢野 良輔 （東京海上ディーアール株式会社）

理事候補者 9名（改選数 9）

井手 貴範 （株式会社アイシン）
大江 貴司 （岡山理科大学）
荻田 武史 （東京女子大学）
梶原 健司 （九州大学）
齊藤 宣一 （東京大学）
関根 晃太 （千葉工業大学）
長井 秀友 （東海大学）
松本 純一 （（国研）産業技術総合研究所）
吉田 真紀 （（国研）情報通信研究機構）

[2] 代表会員 100 名

相島 健助 （法政大学）
青木 美穂 （島根大学）
秋山 正和 （富山大学）
石田 祥子 （明治大学）
石渡 哲哉 † （芝浦工業大学）
相原 研輔 （東京都市大学）
秋葉 博 † （東京大学／電力中央研究所）
畔上 秀幸 （名古屋大学）
石渡 恵美子 （東京理科大学）
石渡 通徳 （大阪大学）

磯島 伸	(法政大学)	井手 貴範 ‡	(株式会社アイシン)
今井 桂子	(中央大学)	今井 隆太	(みずほ情報総研(株))
今関 修	(鹿島建設(株))	今村 俊幸	((国研) 理化学研究所)
岩田 覚	(東京大学)	内山 成憲 †	(東京都立大学)
梅田 裕平	(富士通株式会社)	大石 進一	(早稲田大学)
大江 貴司 ‡	(岡山理科大学)	大崎 純	(京都大学)
大田 佳宏	(Arithmer株式会社)	大林 一平	(岡山大学)
岡澤 健介 †	(日鉄ソリューションズ(株))	岡本 久	(学習院大学)
荻田 武史 ‡	(東京女子大学)	奥田 昌宏	(キャノン株式会社)
奥田 洋司	(東京大学)	尾崎 克久	(芝浦工業大学)
梶原 健司 ‡	(九州大学)	片岡 一朗	((株) 日立製作所)
神山 雅子	((株)プリヂストン)	河合 孝純	(東京都市大学)
川原 仁志	(伊藤忠テクノソリューションズ(株))	久保田 光一	(中央大学)
剣持 智哉	(名古屋大学)	小磯 深幸 †	(九州大学)
國府 寛司	(京都大学)	齊藤 宣一 ‡	(東京大学)
櫻井 鉄也	(筑波大学)	櫻田 英樹	(日本電信電話(株))
佐古 和恵	(早稲田大学)	佐藤 一誠	(東京大学)
佐藤 大輔	(日本電信電話(株))	新谷 浩平	(トヨタ自動車(株))
鈴木 大慈	(東京大学)	須田 礼仁	(東京大学)
関川 浩	(東京理科大学)	関根 晃太 ‡	(千葉工業大学)
関根 順	(大阪大学)	曾我部 知広 †	(名古屋大学)
尊田 嘉之	(AGC(株))	高石 武史	(武蔵野大学工学部数理工学科)
高木 剛	(東京大学)	高島 克幸	(早稲田大学)
竹内 謙善	(香川大学)	張 紹良 †	(名古屋大学)
土谷 隆	(政策研究大学院大学)	富安 亮子	(九州大学)
直野 健 †	((株) 日立製作所)	永井 敦	(津田塾大学)
長井 秀友 ‡	(東海大学)	中口 悦史	(東京医科歯科大学)
中島 研吾	(東京大学)	中田 行彦	(青山学院大学)
長山 雅晴	(北海道大学)	奈良 高明	(東京大学)
野津 裕史	(金沢大学)	野邊 厚	(早稲田大学)
萩田 真理子	(お茶の水女子大学)	平井 広志	(東京大学)
深谷 猛	(北海道大学)	福田 亜希子	(芝浦工業大学)
藤田 景子	(富山大学)	降旗 大介	(大阪大学)
堀之内 成明	(株式会社豊田中央研究所)	松尾 宇泰	(東京大学)
松本 純一 ‡	((国研) 産業技術総合研究所)	丸野 健一 †	(早稲田大学)
三谷 純	(筑波大学)	宮路 智行	(京都大学)
村重 淳 †	(茨城大学)	保國 恵一	(筑波大学)
守田 智	(静岡大学)	森山 園子	(日本大学)
矢ヶ崎 一幸	(京都大学)	谷口 隆晴	(神戸大学)
矢野 良輔 ‡	(東京海上ディーアール株式会社)	山口 明宏	(福岡工業大学)
山田 知典	(東京大学)	山中 卓	(青山学院大学)
山中 脩也	(明星大学)	山本 野人	(電気通信大学)
山本 光晴	(千葉大学)	横張 孝志	((株) 日立製作所)
吉田 真紀 ‡	((国研) 情報通信研究機構)	李 聖林 †	(京都大学)
渡邊 勇	(一般財団法人 電力中央研究所)	渡部 善隆 †	(九州大学)

† ‡ 2022年度役員（†非改選役員12名，‡改選役員候補10名）としての代表会員立候補者

学会誌編集委員会 2021(令和 3)年度 活動報告

編集委員長 村重 淳

1. 概要

学会誌「応用数理」は年 4 冊刊行，会員には無料配布されている．

学術的記事から気軽の読めるコラムまで幅広い内容を収録しており，会員のみならず広く応用数理に興味を持つ読者に対して，高水準の情報を提供している．

刊行後 4 ヶ月以上経過すると，応用数理の本文が J-Stage にてオープンアクセスとなっている．

2. 発刊実績

2021（令和 4）年度の発刊実績は

第 31 巻 2 号（6 月），3 号（9 月），4 号（12 月）

第 32 巻 1 号（3 月）

の 4 号である．総ページ数は 202 ページであった．

3. その他

定期的に編集委員会が行われており，2021 年度は通算第 254 回から 261 回まで 8 回開催された．新型コロナウイルス感染症のため，全て Web 会議システム Zoom による開催であった．

32 巻 1 号から出版社が岩波書店から国際文献社に変更となった．それにともない，出版体制と各委員の役割分担を見直した．

論文誌編集委員会 令和 3(2021)年度 活動報告

編集委員長 荻田武史

1. 概要

日本応用数学会論文誌（以下、論文誌）は、原著論文（理論、応用、実用、ノート）およびサーベイ論文を要する和文の論文誌である。応用数理全般にわたる各分野からの投稿を奨励し、厳正な査読プロセスを経た論文が刊行される。1991年3月に第1巻1号を発刊以来、毎年1巻4号を発刊しており、2022年3月で第32巻1号となる。第25巻までは冊子体で発行され、第26巻からはJ-Stage上の電子ジャーナルとなった。また第25巻までのバックナンバーもすべてJ-Stage上に移行が完了している。

2. 発刊実績

令和 3(2021)年度に第31巻 2,3,4号および第32巻 1号を発刊した。各部門の論文数の内訳は以下のとおりである。

原著論文（理論 5 編、応用 1 編、実用 5 編、ノート 2 編、サーベイ 1 編）

掲載論文数の安定を図るため 2012 年度より研究部会の特集を復活し、今後も継続的に特集を組むことを予定している。

3. その他

令和 3 年度論文賞は、理論・応用・サーベイ部門から 1 編ずつ計 3 編が選ばれた。

残念ながら（特集以外の一般の）投稿が伸び悩む傾向は続いており、引き続き研究部会への依頼に基づく特集号の編成を検討する。また、サーベイ論文の拡充のため、編集委員会からの依頼論文について掲載料を免除する新規定を理事会にご認可頂いている。しかしながら、今日における日本語論文誌の位置づけ自体を含めて、根本的な戦略の練り直しが必要であると思われる。

論文誌編集委員会は、編集システムおよび掲載システムの全電子化に伴い、対面委員会を廃止し、必要に応じて電子的に委員会を開く格好をとっている。これにより、関東近郊に限られず全国広いエリアから編集委員を柔軟に採用できるメリットが得られ、その帰結として編集委員会全体として従前よりも適切に広い応用数学分野をカバーできている。他方で、論文誌の方向性など根本的なことについて議論する場は（電子的なものを除いて）なくなっているため、今後、社会情勢を考慮しつつ、年会時の対面委員会開催などを検討していく可能性がある。

JSIAM Letters 編集委員会 2021(令和 3) 年度 活動報告

編集委員長 渡部 善隆 (九州大学)

1. 概要

JSIAM Letters は 2009 年に創刊された日本応用数理学会の英文電子ジャーナルである。科学技術振興機構 (JST) が運営する科学技術情報発信・流通総合システム J-STAGE <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsiaml> に公開されている。編集委員会は、(引継目的の在籍者を含む) 編集委員長 (1 名), 副編集委員長 (1 名), 幹事編集委員 (8 名), 英文担当 (2 名) および研究部会から推薦された 51 名の編集委員で構成されている (2021 年 11 月現在)。英文 $\text{\LaTeX}$ 原稿で A4 版 2 段組み 4 ページ以内を原則とする。年会, 研究部会連合発表会および研究部会主催・共催の研究集会で講演されたことを投稿の条件とする。著者の少なくとも 1 名が日本応用数理学会の会員であれば掲載料 (投稿料) は無料, そうでない場合は 20,000 円を求める。1 ヶ月以内に査読, 6 週間以内に採否を通知することを原則としている。

2015 年度から論文賞 (JSIAM Letters 部門) を設け, 各年度 1~3 編の論文を選出している。

2. 発刊実績

3 月の研究部会連絡会と 9 月の年会において開催される編集委員会に合わせて投稿数と査読結果を集計している。2022 年 3 月までの集計結果は次の表のとおりである。

期間	投稿数	採録数	不採録数	査読中	査読日数
2019.9 – 2020.8	26	21	5	0	22.4
2020.9 – 2021.8	23	20	0	0	24.6
2021.9 – 2022.2	24	14	0	10	35.5

なお、近年 5 年間の掲載年別の Volume における掲載論文数は次のとおりである。

Vol.9 21 編 84 ページ
Vol.10 20 編 80 ページ
Vol.11 20 編 80 ページ
Vol.12 19 編 76 ページ
Vol.13 23 編 88 ページ

以上.

国際活動委員会 令和3年度 活動報告

委員長 梶原 健司

1. 概要

国際活動委員会は、日本応用数理学会の国際的な活動に関する様々な事業を行うための企画立案や提案、実施に向けた準備とその実績の評価や改善のための検討などを行い、当学会の国際的な活動を促進することを目的とする。

2. 令和3年度の主な取組とその成果

今年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により世界的に国際活動は大きく制約され、残念ながら、例年に比べて活発ではなかった。

(A) 海外のSIAM関連学会との連携

オーストラリア数学会とは相互協定を締結しており、その部会である Australia-New Zealand Industrial and Applied Mathematics (ANZIAM) の年会には例年 JSIAM 会員が参加している。2022 年の年会は 2 月 6 日～2 月 11 日にオンラインで行われた。

(B) ICIAM 2023 東京開催準備

ICIAM 2023 組織委員会（大石進一大会委員長、岡本久副委員長）を中心に開催準備が行われている。

3. ICIAM Board Meeting 2021 の報告

令和3年10月30日に ICIAM Board Meeting 2021 がオンラインで開催された。その議事から重要事項4件を報告する。

1) ICIAM2023の準備状況の報告

大石進一大会委員長から ICIAM2023 の準備状況の報告があった。

2) ICIAM2027の開催地

ICIAM2027の開催地としてオランダのハーグのBidが紹介された。また、サイトビジットの報告がされた。投票の結果、ICIAM2027はオランダのハーグで開催されることが決定された。

3) ICIAM Dues（加盟費）について

ICIAM Duesは、現在の経済状況を考慮し据え置きとなり、JSIAMを含むlarge full societyは\$800のままとなった。

4) 2022年のICIAM Board Meetingは2022年9月3日に英国グラスゴーのStrathclyde大学で開催し、その前の2日間にICIAM Workshopが開催される。

4. その他

ICIAMのOfficer at Large 選考に当たって本委員会で候補者を日本応用数理学会執行部に推薦し、執行部からICIAMに推薦を行った。また、ICIAM2023の各賞の授賞候補者の選考を理事会の承認の下、本委員会の委員を中心とする選考委員会で行い、ICIAM Industry PrizeとCollatz Prizeの受賞候補者を推薦した。また、およびOlga-Taussky-Todd Lectureの講演者候補を同様の手続きを経て推薦した。

表彰委員会 2021(令和3)年度 活動報告

表彰委員長 梶原 健司

1. 概要

日本応用数理学会には以下の内部表彰があります。

- (1) 日本応用数理学会論文賞（日本応用数理学会論文誌、JJIAM、および JSIAM Letters）
- (2) ベストオーサー賞（学会誌「応用数理」）
- (3) 年会若手優秀講演賞（当該年度4月1日現在で35歳未満の講演者が対象）
- (4) 年会優秀ポスター賞（当該年度4月1日現在で35歳未満の講演者が対象）
- (5) 研究部会連合発表会優秀講演賞
- (6) 日本応用数理学会業績賞

本年度、表彰委員会は規程に従って上記各賞の選考委員を理事会に提案し、選考委員会による選考結果を理事会に上程致しました。上程した候補はすべて理事会で認められ、受賞の運びとなりました。なお、昨年度は(3)、(4)、(5)の選考は行われませんでした。本年度はそれを踏まえて多めに表彰致しました。これらに加え、例年通り、理事会を通じて外部賞への会員の推薦も行いました。

2. 表彰実績

(1) 日本応用数理学会論文賞

選考委員会の推薦に基づき、2018年から2020年の『日本応用数理学会論文誌』（第28巻1号～第30巻4号）およびJJIAM(Volume 35 issue 1～Volume 37 issue 3)に発表された論文の中から計4編を論文賞候補に選定しました。また、2018年から2020年のJSIAM Letters (Volume 10～Volume 12) に発表された論文の中から2編を論文賞候補に選定しました。

① 理論部門

寺川 峻平, 谷口 隆晴「波動方程式と弾性方程式からなる連成系のシンプレクティック性について」(日本応用数理学会論文誌 30 巻 4 号(2020), pp.269-289)

② 応用部門

白間 久瑠美, 工藤 周平, 山本 有作「荻田・相島の固有ベクトル反復改良法に基づく実対称行列の固有値分解追跡手法」(日本応用数理学会論文誌 29 巻 1 号(2019), pp.78-120)

③ サーベイ部門

鈴木 航介, 合田 隆「準モンテカルロ法の最前線」(日本応用数理学会論文誌 30 巻 4 号(2020), pp.320-374)

④ JJIAM 部門

Teppei Ogihara and Hideyuki Tanaka, “Asymptotic error distributions of the Euler method for continuous-time nonlinear filtering” (Japan J. Indust. Appl. Math. Vol. 37 (2020), pp.383-413)

⑤ JSIAM Letters 部門

Yoshinori Kametaka, Kohtaro Watanabe, Atsushi Nagai, Kazuo Takemura, Hiroyuki Yamagishi, Hiroto Sekido, “The best constant of discrete Sobolev inequality on 1812 C60 fullerene isomers” (JSIAM Letters, Vol. 12 (2020), pp.49–52)

Hozumi Morohosi, “Logarithmic Gini mean difference measure for apportionment problem” (JSIAM Letters, Vol. 12 (2020), pp.69–71)

(2) ベストオーサー賞

選考委員会からの推薦に基づき、2018 年から 2020 年の学会誌『応用数理』（第 29 巻 1 号～第 31 巻 4 号）に発表された論文、インダストリアルマテリアルズの中からベストオーサー賞 2 編を理事会に上程しました。

① 論文部門

相原 研輔「連立一次方程式に対する積型 Bi-CG 法の発展」(応用数理 30 巻 3 号 (2020), pp.16-23)

② インダストリアルマテリアルズ部門

松岡 弘大「逐次データ同化を利用した鉄道橋応答変位推定」(応用数理 30 巻 4 号 (2020), pp.24-27)

(3) 年会若手優秀講演賞

各セッションからの推薦に基づき、以下の 9 件を年会若手優秀講演賞候補に選定しました。表彰規程では原則最大 5 名までとなっていますが、昨年度に表彰がなかったことを考慮した結果です。

① 池 祐一（東京大学大学院情報理工学研究科）

「TDA 的損失関数の確率的劣勾配法に関する収束定理」

② 井上 広明（神戸大学大学院工学研究科）

「データ駆動型アプローチによる神経ネットワークのダイナミクス推定」

③ 岩政 勇仁（京都大学）

「 2×2 型分割多項式行列の行列式次数を求める組合せ的多項式時間アルゴリズム」

④ 牛山 寛生（東京大学大学院情報理工学系研究科）

「最適化に現れる常微分方程式の本質的な収束レート」

⑤ 剣持 智哉（名古屋大学大学院工学研究科）

「不連続 Galerkin 時間離散化手法による離散勾配法の高精度化」

⑥ 佐藤 寛之（京都大学大学院情報学研究科）

「リーマン多様体上の非線形共役勾配法の新たな枠組みと数値線形代数への応用」

⑦ 重富 尚太(九州大学大学院数理学府)

「捩率一定空間曲線および torsion angle 一定空間離散曲線に対する楕円テータ関数による明示公式」

⑧ 園田 翔(理化学研究所)

「積分表現ニューラルネットが定める積分方程式の一般解」

⑨ 水口 信(中央大学)

「楕円型方程式と放物型方程式に対する半離散ガレルキン近似の誤差定数について」

(4) 年会優秀ポスター賞

年会実行委員会が定める審査員の評価に基づき、年会実行委員会が以下の2件を選考しました。

① 最優秀ポスター賞

大鋸 康隆(同志社大学大学院理工学研究科、発表者)、西田 優樹(同志社大学研究開発推進機構)、渡邊 芳英(同志社大学理工学部)

「Alternating-Method による Max-Plus 線形方程式の解空間の近似」

② 優秀ポスター賞

秋田 康輔(大阪大学大学院情報科学研究科、発表者)、宮武 勇登(大阪大学サイバーメディアセンター)、降旗 大介(大阪大学サイバーメディアセンター)

「観測演算子の推測に深層学習を用いるデータ同化推定」

(5) 研究部会連合発表会優秀講演賞

各セッションからの推薦に基づき、以下の4件を年会若手優秀講演賞候補に選定しました。表彰規程では原則最大3名までとなっていますが、昨年度に表彰がなかったことや多数の推薦があったことなどを考慮しました。

① 栗島 史欣(福井工業大学)

「レーザーカオスのモードの同時性による閾値付近での安定性」

② 榊原 航也(岡山理科大, 理化学研究所)

「バイドメインモデルにおける解の漸近挙動の数値解析」

③ 大古 一聡(東京大学)

「Spanner-based Approach to Spectral Sparsification of Hypergraphs」

④ 松井 一徳(成蹊大学)

「Navier-Stokes 方程式の rotation form に対する数値解法の提案」

(6) 日本応用数理学会業績賞

会員から推薦のあった業績から以下の1件を候補として選定しました。

杉原 厚吉（明治大学研究特別教授・東京大学名誉教授）
「錯視の数理モデリングとその応用」

3. 外部推薦

2021 年度は、4 件（藤原賞，猿橋賞，東レ科学技術賞，井上學術賞）の外部推薦を行いました。

ネットワーク委員会 2021(令和 3)年度 活動報告

委員長 山中脩也

1. 概要

ネットワーク委員会は、Web やメールなどの当学会におけるネットワーク関連の実務を担当ないしは支援することにより、当学会の活動をより円滑にすることを目的とする。

2. 主たる業務

ネットワーク委員会の主たる業務は以下のものである。

- (a) 当学会 Web の維持・更新（2022 年 3 月まで）。
- (b) 学会員向け「日本応用数理学会 ML ダイジェスト」の編集（週 1 回の頻度）。
- (c) 理事会等、学会運営用各種メーリングリストの管理（約 70 程度）。
- (d) Web・メール用サーバの維持管理（Web サーバは Amazon Web Service のクラウドサービスを、メールサーバは G Suite を利用している）。
- (e) ネットワークドメイン jsiam.org および iciam2023.org の維持管理（DNS サーバは Dotster および Amazon Web Service のクラウドサービスを利用している）。
- (f) ICIAM の Web サーバの管理。
- (g) ICIAM 2023 の Web サーバ・査読システムの管理。
- (h) ICIAM 2023 のメーリングリストの管理（約 10 程度）。

3. 2021 (令和 3) 年度実績

上記の主たる業務を恒常的に遂行している。なお、2021 年度の総務委員会の設置に伴い、(a) 当学会 Web の維持・更新は総務委員会に移管された。また、2021 年度まで試験的に運用を行っていた SNS (Twitter) による迅速な情報伝達・広報の展開についても(a)と同時期に総務委員会に移管された。

4. 2021 (令和 3) 年度ネットワーク委員会構成メンバー

委員長 山中脩也（明星大学）

委員 降旗大介（大阪大学）

荻田武史（東京女子大学）

関根晃太（千葉工業大学）

南畑淳史（関西国際大学）

小林 領（帝京平成大学）

なお、2022 年度からは関根氏が委員長に就任予定である。

以上

出版委員会 2021(令和3)年度 活動報告

出版委員（担当理事 直野健）

1. 概要

出版委員会では、シリーズ応用数理を7刊まで発刊しました。

2. 発刊実績

2021（令和4）年度の発刊実績は、以下の通りです。

シリーズ応用数理 7 巻

選挙・投票・公共選択の数理

日本応用数理学会 監修・大山達雄 編

発行年月：2022 年 3 月

3. 発刊準備

今後、8 巻以降の検討を開始する予定です。

4. その他

シリーズ応用数理の過去の発行実績は以下のとおりです。

シリーズ応用数理 1 巻 数理的技法による情報セキュリティ

日本応用数理学会 監修・萩谷 昌己・塚田 恭章 編

発行年月：2010 年 7 月

シリーズ応用数理 2 巻 公開鍵暗号の数理

日本応用数理学会 監修・森山 大輔・西巻 陵・岡本 龍明 著

発行年月：2011 年 3 月

シリーズ応用数理 3 巻 折紙の数理とその応用

日本応用数理学会 監修・野島 武敏・萩原 一郎 編

発行年月：2012 年 9 月

シリーズ応用数理 4 巻 有限要素法で学ぶ現象と数理—FreeFem++数理思考プログラミング—

日本応用数理学会 監修・大塚 厚二・高石 武史 著

発行年月：2014 年 2 月

シリーズ応用数理 5 巻 応用のためのウェーブレット

日本応用数理学会 監修・山田 道夫・萬代 武史・芦野 隆一 著

発行年月：2016 年 1 月

シリーズ応用数理 6 巻 数値線形代数の数理と HPC

日本応用数理学会 監修・櫻井 鉄也・松尾 宇泰・片桐 孝洋 編

発行年月：2018 年 8 月

(<https://www.kyoritsu-pub.co.jp/series/100218/>)

以上

総務委員会 2021(令和3)年度 活動報告

委員長 齊藤 宣一

1. 概要

総務委員会が、学会の事業のうち、総務に関わるものを担当し、学会事務局を統括するために、2021年度に新たに設置された。

2. 委員会名簿

委員長 齊藤宣一（東京大学） 理事

副委員長 曾我部知広（名古屋大学） 理事

会計係

委員 村川秀樹（龍谷大学）

広報係

委員 相原研輔（東京都市大学）

委員 杉谷宜紀（城西大学）

委員 内海晋弥（学習院大学）

渉外係

委員 佐々木多希子（武蔵野大学）

3. 活動

会計係

学会事務局からの支出伺いを管理し、担当理事の指示のもとで、支出の可否を学会事務局に伝える。

広報係

学会ウェブ・学会 twitter のコンテンツの管理を行う。

渉外係

学会への協賛・協賛・後援等に対する対応を、担当理事の指示のもとで、事務局に指示する。

外部団体からの連絡等を、学会の担当者に引き継ぐ。

以上

規程類の整備・改正の記録

理事（総務担当）齊藤 宣一

2021（令和3）年度理事会において以下の規程類の新規制定・整備・改正等を行った。

- 一般規程 2002 年 7 月 30 日改正
「総務委員会」および「位相的データ解析」研究部会発足を反映した。
- JSIAM Letters 編集委員会 2002 年 7 月 30 日制定
- 総務委員会規定 2021 年 7 月 30 日制定
- 選挙規定 2021年7月30日改正
電子的な選挙方法に対応できるように改正を行った。
- 学会誌編集委員会規定 2021年7月30日改正
発行元を岩波書店から日本応用数理学会に変更した。
- 会費細則 2022 年 3 月 25 日改正
入会定続き方法に、ウェブの入会フォームを追加した。
- ネットワーク委員会規定 2022 年 3 月 25 日制定
- 年会予稿集の公開方針について 2022 年 3 月 25 日改正
一般公開を、年会終了後 3 ヶ月が経過したのちに変更した。
- 会員の電子メールアドレスの利用方針について 2022 年 3 月 25 日制定
- 著作権規定 2022 年 3 月 25 日改正
規定の改廃についての条項を追加した。
附則を修正した。
- プライバシーポリシー 2022 年 3 月 25 日改正
事務局の住所を変更した。

以上